

小，中，高一貫型英語語彙シラバス開発のための基礎研究

Towards Compiling a National Syllabus for Japanese English Vocabulary

中條清美

日本大学

西垣知佳子

千葉大学

吉森智大

出水商業高等学校・千葉大学大学院生

西岡菜穂子

千葉聖心高等学校

CHUJO, Kiyomi

Nihon University

NISHIGAKI, Chikako

Chiba University

YOSHIMORI, Tomohiro

Izumi Commercial High School, Chiba University Graduate School

NISHIOKA, Naoko

Chiba Seishin High School

The Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology's 2002 initiative to begin English education in primary schools provides educators with an important opportunity to create a curriculum of sequential learning outcomes. Previous studies comparing vocabulary featured in top selling textbooks indicate a lack of coordination in the vocabulary selected for junior and senior high school texts (Ozasa and Erikawa, 2004; Hasegawa and Chujo, 2004), and a preliminary analysis of primary level texts (Higuchi et al., 2003) reflects this same trend. In this study, the authors examine vocabulary currently taught at each level and, based on an analysis of the vocabulary in widely published textbooks, have created a list of 514 basic but essential primary level words, 552 words for junior high school, and 1,089 terms for high school. From this list of 2,155 words, an estimated 40% are presented two or more times in textbooks taught at different levels; therefore, without repetition, the core list contains 1,288 words. By constructing a sequential vocabulary curriculum, learners can continue to build on EFL learning as they proceed through each level. Although an estimated 7,000 to 8,000 words are said to be necessary for practical English competence, the vocabulary compiled in this study represents a positive step in coordinating learning outcomes for Japanese EFL learners.

keywords: vocabulary, textbooks, national syllabus, EFL, English education

1. 研究の背景と目的

平成 14 年の小学校での英語活動の導入を機に、学校教育における英語教育がこれまで以上に注目を浴び、国民を巻き込んでの英語教育論議が続いている(大津 2004 2005 2006)。そのような中、平成 18 年 3 月には、中央教育審議会外国語専門部会によって「小学校英語の必修化」が提言され、従来の、中学校・高等学校を中心としてきた日本の英語教育は転換期を迎えている。

日本の英語教育は「効果をあげていない」と批判されてきたが、その原因のひとつとして、小学校・中学校・高等学校(以下、小中高)における一貫した英語カリキュラムの欠如が指摘されている(樋口, 2005; 小池, 2006)。日本と同様の英語学習環境にある中国、韓国、台湾では政府主導のもと、明確な英語教育の目標が定められ、小中高を連携させる英語教育のナショナル・シラバスが存在する(樋口他, 2005a; 小池, 2006)。英語教育の効果をあげるためには、東アジア諸国のように日本においても、小中高の英語教育に連続性を持たせるようなナショナル・シラバスが必要であると言われ、樋口他(2005b)などの試案も提案されている。

本研究は、将来の我が国のナショナル・シラバスの構築を見据え、英語力の基盤とされる語彙力に関して、現在、日本で使用されている教科書の出現語彙を調査し、小中高で指導される語彙の連続性を定量的に検証することを目的として行われた。

本稿では、はじめに 2 節において、これまでに行われた英語教科書語彙に関する先行研究を概観する。次いで、3 節で小中高の教科書等の言語資料の収集とそれらの語彙リストの作成方法について説明する。4 節で各学校段階の教科書に出現する語彙から「基礎語彙」を抽出する。5 節で小中高の「基礎語彙」を比較し、さらに、小中高の異なる学校段階の「教科書語彙」どうしを比較し、それらの連続性について考察する。6 節は結論と今後の課題である。

2. 先行研究調査

本節では、小中高英語教科書の出現語彙に関する先行研究の調査を行い、これまでの研究によって、どのような事実が明らかにされているかを概観する。

2.1 小学校、中学校、高等学校英語教科書の出現語彙

小学校英語は正式な教科ではないため、統一的なガイドラインはなく、指導内容や指導語彙については各学校の裁量に任されてきた¹。そのような状況のもと、樋口他(2003)は、2 種の小学校英語活動用テキスト、指導案集、および指導書の語彙数を調査し、さらに小学校英語の特徴として名詞の割合が高いこと、「日常生活」「人間関係」「食べ物・食事」関連の名詞が多いこと等を明らかにした。中條他(2006a)は、5 社の教科書出版会社が発行する小学校英語活動用テキスト 5 種を収集、分析し、どのような語彙がどの教科書で扱われているかを「小学校英語活動用テキストの語彙一覧」として公表した。

中学校英語教科書の語彙調査は古くから行われてきた。菅沼(1937)や速川(1965)の初期の研究では手作業による調査が行われたが、70年代以降は、垣田他(1977)、小川(1977)、小川(2001)、塩見(2002)、瀬谷(2004)、西垣・中條・武内(2006)、中村(2006)の研究のように、コンピュータを利用して分析が行われ、現行の教科書に出現する語彙の頻度と分布を統計的に明らかにした。中村(2006)は語彙の頻度表に分割表の数量化を当てはめることにより、7種の中学校教科書の間に見られる教科書の傾向を明らかにし、さらに得られた結果を分かりやすく図示する手法を用いる等、コーパス言語学の手法を利用した今後の教科書研究の方向性を示している。

高等学校英語教科書の語彙調査には、上述の速川(1965)をはじめ、淀縄(1983)、三浦(1987)、中條・長谷川・竹蓋(1993)、杉浦(2002)、小篠・江利川(2004)、長谷川・中條(2004)、山添(2006)等の研究がある。初期の研究の主な目的は教科書の出現語彙を統計的に明らかにすることであった。最近ではコンピュータの利用によって通時的な教科書語彙どうしの比較(小篠・江利川, 2004; 長谷川・中條, 2004)、教科書語彙と他ジャンルの英文テキスト語彙との比較(中條・長谷川・竹蓋, 1993; 長谷川・中條, 2004; 長谷川・中條・西垣, 2006)等、多様な比較が行われるようになっている。高校教科書が中学校教科書と異なる点としては、教科書の種類が多いこと、教科書によって大きさ、ページ数、英文の難易度等が大きく異なることが報告されている。一般に、高校の教科書はA5判、B5変型判、B5判の3種の判型に分類されるが、慣例的に「判型の大きいものが、小さいものよりも易しい英文で書かれている(易 B5 > B5変型 > A5 難)」(山添, 2006: 167)とされているようである。この点について、山添は、「英語」35冊、「英語」37冊の高校英語教科書を分析した結果、同じ判型の教科書であっても教科書間には、文の平均長や延べ語数、新語の増加率に違いが見られたことを報告した。

2.2 小、中、高の教科書語彙の関連

従来の英語教育の枠組みに小学校英語が加わることは、中学校以降の「英語科」の教育内容の再編につながるであろうと言われている(松川, 2003:11)。そこで本稿では、小中高の三者の教科書語彙の関連についての先行研究を調査した。三者の関連を調査した研究は、本稿の予備研究(中條他, 2006b)を除いて見受けられなかったが、小学校と中学校、あるいは中学校と高校における語彙の関連については以下のような先行研究がある。

小中教科書の関連について、樋口他(2003)は *One World Kids*(教育出版)と *Sunshine Kids*(開隆堂)の2種の小学校英語活動用テキスト使用語彙と中学校1年生の英語教科書使用語彙を調査し、中学1年生で学ぶ名詞の26.2%、動詞の11.6%が上記の小学校テキスト使用語彙と共通であることを示している。

中高教科書の語彙については、小篠・江利川(2004)が明治期から現代に至る代表的な英語教科書9種について語彙の変遷を定量的に分析している。その中で、時代の流れとともに表れている顕著な特徴として、累計異語数の減少と、新語の反復の減少が報告されて

いる。また、9 種のうち今日も続く Sunshine シリーズに関して²、高校 1 年の教科書の異語数と延べ語数が、中学校 3 年分を合わせたものを上回っていること、新語数と異語率において中学校と高校の間に大きなギャップが存在することを明らかにした。そして「これは Sunshine が中学校と高校の別々の教科書として独立していることが深くかかわっている」(p.144)ためであるとして、同名のシリーズでありながら中高の連携がなされていないことを指摘した。このような中学校と高校の教科書語彙数間の大きな差異の存在は、中学校教科書 *New Horizon 1,2,3* と高校教科書 *Unicorn* , , *Reading* の 1980 年代、1990 年代、2000 年代の 10 年ごとの語彙数の変遷について調査した長谷川・中條(2004)の研究においても報告されている。

教科書語彙に関する先行研究を概観した結果をまとめると、1) 中学校と高等学校の英語教科書語彙の頻度調査は古くより行われ、最近では他のジャンルとの比較やコーパス言語学的手法による研究が始まっている、2) 小学校英語活動が開始され、小学校教科書語彙の調査も始まったが、調査数はまだ少ない、3) 小・中、および中・高の二者の英語教科書語彙の比較調査は行われているが、小中高の三者の関連を調査した研究はない、中・高では中学終了時点と高校 1 年で教科書の語彙数に大きなギャップがあることが報告され、二者間の連携がなされていないことが示唆されている。

以上のことから、本研究ではこれまでに調査が行われていない小中高の教科書語彙の関連について定量的な分析を試みる。次節では、小中高の教科書語彙の関連性を調査するための基礎資料となる、小中高教科書データの収集と語彙リストの作成について述べる。

3. 小中高教科書の収集と語彙リストの作成

本節では最初に、語彙調査を行う際の基本となる「語」の定義を明確にしたい。コンピュータ処理で出力される最初の語彙リストは、boy, boys や come, comes, came を異なる語として分類する word-forms で構成されている。一方、我々が直感的に考える語彙リストとは、辞書の見出し語のように、come には、come, comes, coming, came を含むもので、この come は一般にレマ(lemma)と呼ばれる。英語教育分野において利用されている学習用語彙リストの多くはレマリストであることから、本研究では、収集した小中高教科書データからレマリストを作成した³。(以下、語彙リストとはレマリストを指す。)また、語彙リストどうしの比較結果を明確にするために、固有名詞・数詞・略語等を人手で除外した。語彙の定量的研究においては、電子化する際に、固有名詞等を除去するかどうか、レマタイズを行うかどうか、そして、教科書語彙については教科書のどの部分を入力するかによって、調査結果に表れる語数は異なってくることに留意する必要がある。

3.1 小学校英語活動用テキストと語彙リスト

現在、中学校英語検定教科書を出版している主要 6 社のうち 5 社が小学校英語活動用テキストを出版している。本稿では、それら 5 社が出版する *One World Kids*(教育出版)、*Junior*

Columbus 21 (光村図書), *Let's Have Fun!* (開隆堂), *Junior Horizon Hi, English!* (東京書籍), *Kids Crown*(三省堂)の 5 種のテキストシリーズを収集した。出典の詳細は Appendix 1 に付した。表 1 に示すように,テキスト数は *Let's Have Fun!* が 6 冊,他は各 2 冊ずつで, 5 種合わせて計 14 冊であった。小学校テキストには絵や写真が多く,英語の語句や文は少ない。そのためテキストに出現する英語のみを収集しても英語活動で実際に使用される語彙の実態を把握することは困難である。そこで,教師用指導書に活動例,指導例として示された英語の例も収集することによって,実際の英語活動のある程度の目安が得られると考えた。指導書は 5 種のテキストシリーズを合計して 11 冊であった。

小学校英語活動用テキスト 14 冊と指導書 11 冊の計 25 冊に出現する語句と文の例を人手で,またはスキャナーを使用して入力し,校正の後,単語の基本形に基づくレマリストを作成した。結果,小学校英語テキストおよび指導書に出現した語彙の総計は,異語数(語の種類数)は 2,703 語,延べ語数は 85,078 語であった。各テキストシリーズの異語数の詳細は表 1 に示した。上述したように 小学校テキストには英語の語句や文は非常に少なく,各テキストの延べ語数を比較しても意味のある結果は得られないため,延べ語数は示していない。

表 1 小学校英語活動用テキストに出現した語彙数

テキストシリーズ	出版社	コース	コース異語数	シリーズ異語数
<i>One World Kids</i>	教育出版	バード	328	498
		アント	379	
<i>Junior Columbus 21</i>	光村図書	Book 1	625	954
		Book 2	738	
<i>Let's Have Fun!</i>	開隆堂	1年	311	993
		2年	306	
		3年	327	
		4年	448	
		5年	352	
		6年	374	
<i>Junior Horizon Hi, English!</i>	東京書籍	Book 1	794	1,149
		Book 2	769	
<i>Kids Crown</i>	三省堂	スタンダード	986	2,084
		アドバンスト	1,860	
平均異語数				1,136
5 種テキストシリーズ合計異語数				2,703

3.2 中学校英語教科書と語彙リスト

平成 17~18 年度に使用された中学校教科書 6 種 18 冊を収集し⁴,小学校用テキストと同様の方法で分析し,採択部数の多いものから表 2 に示した。出典の詳細は Appendix 1 を参照されたい。中学校英語教科書 6 種に出現した語彙の総計は,異語数 1,690 語,延べ語数 41,344 語であった⁵。

表 2 中学校英語教科書に出現した語彙数

教科書シリーズ	出版社	学年	各学年異語数	各学年延べ語数	シリーズ異語数	シリーズ延べ語数
New Horizon	東京書籍	1年	278	1,195	728	6,148
		2年	466	2,507		
		3年	463	2,446		
New Crown	三省堂	1年	316	1,756	854	7,621
		2年	486	2,576		
		3年	590	3,289		
Sunshine	開隆堂	1年	283	1,251	734	5,805
		2年	393	1,881		
		3年	487	2,673		
Total English	学校図書	1年	292	1,427	815	7,852
		2年	535	3,040		
		3年	573	3,385		
One World	教育出版	1年	308	1,735	811	8,154
		2年	513	2,889		
		3年	554	3,530		
Columbus 21	光村図書	1年	237	909	726	5,764
		2年	438	2,202		
		3年	498	2,653		
平均					778	6,891
6種の中学校教科書シリーズ合計					1,690	41,344

3.3 高等学校英語教科書と語彙リスト

高等学校の英語に関する科目には、英語・リーディング、オーラル・コミュニケーション・ライティングの6つの科目がある。すべての生徒に履修させる必修科目は「オーラル・コミュニケーション」および「英語」のうちから1科目とされ、その他は選択履修科目である(文部省, 1999)。

学習指導要領には語彙に関して、オーラル・コミュニケーションで使用される語はそれぞれ英語の範囲内、またライティングは英語の範囲内と示されている。したがって、英語・リーディングの教科書に出現する語彙を分析すれば、オーラル・コミュニケーションおよびライティングの教科書に出現する語彙も網羅されると考えられる。

文部科学省(2005)によると、平成18年度には、英語が34冊、英語が36冊、リーディングが25冊の計95冊の教科書が出版された。本研究ではそのうち、高校教科書16冊、合計48冊を調査対象とする。教科書によって英文の難易度が異なることから(山添, 2006)、本研究では全国での採択率(時事通信社, 2006)と山添の教科書語彙の定量的研究を参照して、難易度のバランスを考慮しながら16冊を選定した⁶。そして、16冊のうち、異語数の比較的少ない5冊15冊を第1グループ(基礎レベル)、中程度の5冊15冊を第2グループ(中級レベル)、異語数の比較的多い6冊18冊を第3グループ(上級レベル)とし、グループ内で採択率の高いものから順に表3に示した。出典の詳細はAppendix 1を参照されたい。表3には、分析した教科書シリーズ名、科目ごとの異語数、延べ語数、教科書シリーズごとの異語数、延べ語数を示した。16冊の教科書に現れた語彙の総計は異語数8,023語、延べ語数371,021語であった。

表 3 分析した高等学校英語教科書

グループ	教科書シリーズ	出版社	科目	各科目異語数	各科目延べ語数	シリーズ異語数	シリーズ延べ語数
1 基礎 レベル	Vivid	第一学習社	Reading	722	4,131	1,917	19,622
				887	4,445		
	World Trek	桐原書店	Reading	812	4,832	1,962	17,673
				978	4,738		
	New Stream	増進堂	Reading	1323	8,103	1,905	18,696
				733	4,126		
Surfing	文英堂	Reading	994	5,712	1,165	5,720	
			1250	8,858			
Daily	池田書店	Reading	236	568	1,815	18,343	
			285	716			
第 1 グループ 平均						1,753	16,011
2 中級 レベル	Pro-vision	桐原書店	Reading	1,002	5,702	2,200	24,837
				1,189	8,227		
	Voyager	第一学習社	Reading	1,484	10,908	2,306	25,103
				840	5,089		
	New Cosmos	三友社	Reading	1,038	5,621	2,260	20,966
				1,832	14,393		
New Legend	開拓社	Reading	922	4,974	2,186	29,038	
			1,330	7,320			
New Stage	池田書店	Reading	1,368	8,672	2,188	21,287	
			918	5,946			
第 2 グループ 平均						2,228	24,246
3 上級 レベル	Crown	三省堂	Reading	863	5,005	2,602	34,751
				1,020	5,162		
	Unicorn	文英堂	Reading	1,606	11,120	3,161	32,776
				1,064	6,439		
	Milestone	啓林館	Reading	1,505	10,443	2,563	25,062
				2,461	15,894		
	Mainstream	増進堂	Reading	1,030	6,639	2,450	24,079
1,241				8,187			
Sunshine	開隆堂	Reading	1,753	10,236	2,335	25,102	
			1,060	7,156			
One World	教育出版	Reading	1,368	8,447	2,309	27,966	
			1,504	8,476			
第 3 グループ 平均						2,570	28,289
16 種 平均						2,208	23,189
16 種の高等学校教科書シリーズ合計						8,023	371,021

次節では、作成した小中高教科書語彙リストに基づいて、小中高の基礎語彙を定義する方法について述べる。

4 . 小中高基礎語彙の定義

各学校段階の語彙を比較するひとつの方法として、小中高の各学校段階の語彙を代表するような語彙、すなわち、小中高の各教科書に出現する語彙の最大公約数とも言える語彙を選定し、それらを比較することが考えられる。このような目的で行われる語彙選定の基準には、より多くの言語資料に出現する語はより重要であるという「レンジ (range)」(Mackey, 1965) の考え方をを用いることができる。本研究においても、「当該語が何種類の教科書に出現したか」を示す「レンジ」の基準を用いて、ある一定基準以上のレンジの語彙を、各学校段階の教科書に幅広く出現した「基礎語彙」として定義することにした。

4.1 小学校基礎語彙

本研究で収集した 5 シリーズのテキストおよび指導書に出現した語彙 2,703 語のレンジの分布を表 4 に示した。「レンジ 5」は小学校テキスト 5 シリーズすべてに現れたことを示す。本研究では、竹蓋・水光 (2005: 60) , 樋口他 (2005b: 129) , 小野 (2005: 67) らの提案および東アジア諸国のナショナル・シラバスに照らし合わせ、小学校で学習する語彙は 500 語程度が妥当であろうと考え、レンジ 4 の 247 語とレンジ 5 の 267 語の合計 514 語を「小学校基礎語彙」と定義した。

表 4 小学校英語活動テキストに出現した語のレンジ分布

レンジ 1	1,330 語
レンジ 2	552 語
レンジ 3	307 語
レンジ 4	247 語
レンジ 5	267 語
合計	2,703 語

4.2 中学校基礎語彙

本研究で収集した 6 種の中学校英語教科書に出現した 1,690 語のレンジ分布を表 5 に示した。中学校教科書語彙は教科書間の語数および語種の差異は比較的小さい⁷。そこで、6 種の半分以上に出現したレンジ 4 , 5 , 6 の 552 語を「中学校基礎語彙」と定義した。

表 5 中学校英語教科書に出現した語のレンジ分布

レンジ 1	729 語
レンジ 2	251 語
レンジ 3	158 語
レンジ 4	115 語
レンジ 5	119 語
レンジ 6	318 語
合計	1,690 語

4.3 高等学校基礎語彙

表 6 に収集した 16 種の高校英語教科書に出現した語彙のレンジ分布を示した。本研究では、小・中基礎語彙の語数を考慮して、16 種の約 4 分の 3 にあたる 12 種以上のシリーズに出現したレンジ 12~16 の 1,089 語を「高校基礎語彙」と定義した⁸。

次節では以上の基礎資料をもとに、小中高の教科書語彙の連続性の調査を試みる。

表 6 高校英語教科書に出現した語のレンジ分布

レンジ 1	3,359 語	レンジ 9	147 語
レンジ 2	1,134 語	レンジ 10	145 語
レンジ 3	634 語	レンジ 11	132 語
レンジ 4	422 語	レンジ 12	145 語
レンジ 5	313 語	レンジ 13	153 語
レンジ 6	265 語	レンジ 14	173 語
レンジ 7	203 語	レンジ 15	173 語
レンジ 8	180 語	レンジ 16	445 語
合計		8,023 語	

5 . 小中高教科書語彙の連続性

3 節 , 4 節の手順に従って作成された語彙リストに基づいて , 小中高教科書語彙の関連性について調査する。調査は以下に述べる 2 つの方法で行った⁹。

1) 小中高「基礎語彙」の重複の調査

4 節で定義した小学校・中学校・高校基礎語彙を比較し、三者の重なりを調査した。

2) 1 人の学習者が学ぶ「教科書語彙」の比較

1 人の学習者が使用する教科書は各学校段階で 1 シリーズずつである。そこで小中高の教科書から 1 シリーズを選び、1 人の学習者が教科書を通じて出合う単語の種類数はどの程度であるか、また使用教科書による差異はどの程度であるかを予測した。小中高でどの教科書を使用するかという組み合わせ 480 通り (小 5 種×中 6 種×高 16 種) の中から、本稿では、以下の理由によって、20 通り (小 5 種×中 1 種×高 4 種) の場合について調査した。

まず、小学校英語活動用テキストはシリーズによって大きく語数および語種が異なるので、全 5 種について調べた。中学校英語教科書は小学校と高校教科書に比べてシリーズ間の語数と語種に大きな差はないので、18 年度採択比率 42.5% (時事通信社、2005) の *New Horizon* を選択した。高校英語教科書については、採択部数を考慮して、第 1 グループ (基礎レベル) より *Vivid*、第 2 グループ (中級レベル) より *Pro-vision*、第 3 グループ (上級レベル) より *Crown* と *Unicorn* シリーズの 4 種類を選んだ。

5.1 小中高基礎語彙の重複の調査結果

各学校段階における指導語彙のコアと考えられる、「小学校基礎語彙」、「中学校基礎語彙」、「高校基礎語彙」の 3 種類の語彙がどのような関係になっているかを図 1 に示した。

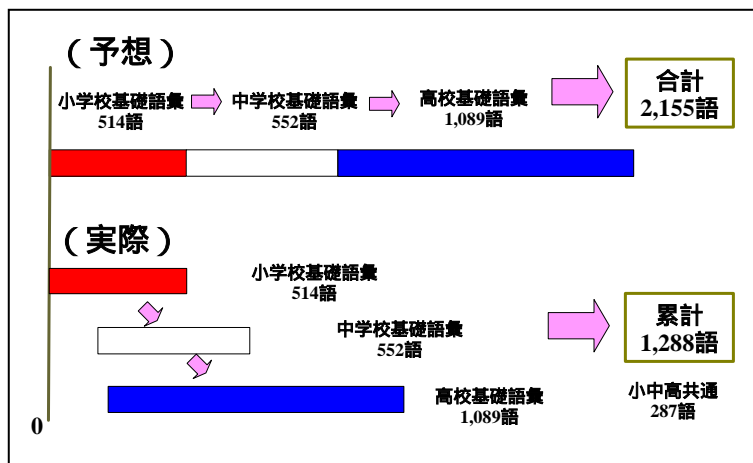


図 1 小中高基礎語彙の連続性

図の上段の棒グラフは、三者の基礎語彙が連続性を持っている場合に、小中高と学校段階が進むにつれて基礎語彙数が累積的に増加する様子を示している。ところが、実際には「基礎語彙」と考えられる三者の語彙には重複があるため、下段の3本の棒グラフが示すような状態となっている。もしも三者の「基礎語彙」に重複がないとすれば、小中高で学習する基礎語彙の合計は 2,155 語である。しかし、実際には二者あるいは三者間にはそれらの約 40% にのぼる 867 語の重複部分があるため、重複部分を除いた語彙数の累計は 1,288 語に減じる¹⁰。この 1,288 語は、小中高それぞれの「基礎語彙」を統合した語彙であることから、我が国の学校英語に必須の「学校英語基礎語彙」と考えられる。これらの 1,288 語は Appendix 2 に示した。さらに Appendix 2 には、母語話者が語の意味を容易に理解できるようになる学年を調査した Dale and O'Rourke (1981) 等の資料をもとに、参考データとして各語の習得学年レベルを付した¹¹。このようなデータは当該語の学年配当を考える際の参考資料になるものとする。

図 1 について詳しく述べると、小学校基礎語彙のみに現れる語は 150 語、中学校基礎語彙のみに現れる語は 25 語、高校基礎語彙のみに現れる語は 533 語である。小中で重なる語は 311 語、中高では 503 語、小高では 340 語であった。そして、小中高の三者に共通して出現する語は 287 語であった。これら 287 語は Appendix 2 において下線を施した。筆者らは、これらの 287 語は、英語の文を構成するのに必要な機能語であるだろうと推測し、Nation (2001: 430-431) に定義されている機能語リストと比較した。その結果、287 語のうち 4 分の 1 (74 語) のみが機能語で、残りは名詞、動詞等の内容語と考えられるものであった。さらに、現行の学習指導要領で指定語となっている 100 語との重複を調査したところ、50% (50 語) が 287 語に含まれていた。また、小学校 1, 2 年生の母語話者は、これら 287 語の 90% の語の意味を容易に理解できるであろうことが予想できた。近い将来、小学校英語教育が必修化、あるいは教科化されるのであれば、これらの語は小学校で扱い、中高ではできるだけ重複を避けるように基礎語彙を選定することが望ましいものとする。

5.2 1 人の学習者が学ぶ可能性のある教科書語彙の重なり

次に，1 人の学習者が小中高の教科書を通じて出会う単語の種類数はどの程度に見込まれるかを調査した。表 7 では，小学校テキスト 5 種のうち 1 種を，中学校教科書は *New Horizon* を，高校英語教科書は *Vivid*，*Pro-vision*，*Crown*，*Unicorn* の 4 種のうち 1 種を学習した場合を仮定して合計異語数を求めた。

表 7 の最上段を見ると，1 人の生徒が小学校では *One World Kids* のバードとアントコースを，中学校では *New Horizon 1, 2, 3*，高等学校では基礎レベルの *Vivid*，*Pro-vision*，*Reading* を使用して学習したと仮定した場合，小学校テキストでは 498 語，中学では 728 語，高校では 1,917 語の計 3,143 語に出会うことができる。また，三者には重複があるため，実際に新出語として出会う語彙の種類数の累計は 2,184 語で，重複異語数の割合は 31%であることが読み取れる。高校で中級レベルの *Pro-vision* を学習した場合，実質的な累計異語数は 2,458 語，上級レベルの *Crown* では 2,822 語，*Unicorn* では 3,348 語であることもわかる。

同様の方法で調査すると，小中高で累計異語数が最大になる組み合わせは小学校で *Kids Crown*，中学校で *New Horizon*，高校で *Unicorn* という場合であり，4,155 語となる。また重複の割合は最大で 34%，最小で 24%と推定される。20 通りの組み合わせを平均すると，単純合計異語数は 4,334 語，実質的な累計異語数は 3,035 語，重複異語数の割合は 30%であると見積もることができる。

表 7 1 人の学習者が出会う可能性のある教科書語彙の語数

小学校	中学校	高校	小中高単純合計異語数	小中高累計異語数	重複異語数%
<i>One World Kids</i> (498語)	<i>New Horizon</i> (728語)	<i>Vivid</i> (1,917語)	3,143	2,184	31
		<i>Pro-vision</i> (2,200語)	3,426	2,458	28
		<i>Crown</i> (2,602語)	3,828	2,822	26
		<i>Unicorn</i> (3,161語)	4,387	3,348	24
<i>Junior Columbus 21</i> (954語)		<i>Vivid</i> (1,917語)	3,599	2,412	33
		<i>Pro-vision</i> (2,200語)	3,882	2,677	31
		<i>Crown</i> (2,602語)	4,284	3,043	29
		<i>Unicorn</i> (3,161語)	4,843	3,514	27
<i>Let's Have Fun!</i> (993語)		<i>Vivid</i> (1,917語)	3,638	2,438	33
		<i>Pro-vision</i> (2,200語)	3,921	2,702	31
		<i>Crown</i> (2,602語)	4,323	3,060	29
		<i>Unicorn</i> (3,161語)	4,882	3,554	27
<i>Junior Horizon Hi, English!</i> (1,149語)		<i>Vivid</i> (1,917語)	3,794	2,520	34
		<i>Pro-vision</i> (2,200語)	4,077	2,784	32
		<i>Crown</i> (2,602語)	4,479	3,142	30
		<i>Unicorn</i> (3,161語)	5,038	3,626	28
<i>Kids Crown</i> (2,084語)		<i>Vivid</i> (1,917語)	4,729	3,144	34
		<i>Pro-vision</i> (2,200語)	5,012	3,417	32
		<i>Crown</i> (2,602語)	5,414	3,702	32
		<i>Unicorn</i> (3,161語)	5,973	4,155	30
平均			4,334	3,035	30

表中 () 内の語数は異語数を示す

以上の結果，前節の小中高基礎語彙の場合と同様の傾向が，1 人の学習者が出会う小中高各 1 種ずつの教科書を組み合わせた結果においても見られた。表 7 から明らかになった

ように、小中高の教科書を通して出会う語の種類約 30%は実際には小中高と繰り返し教科書に出現するものであり、最終的に習得される語彙数は約 3,000 語程度にとどまる。

教科書の英文を構成するには、機能語等の語彙の重複は必要としても、語彙の種類数を絞って小中高と同じ語を繰り返し学習するのがよいのか、小中高とあまり重なりがないように新しい語彙を積み上げていくのがよいのか意見は分かれるところである。しかしながら、小池(2006: 297)の指摘するとおり、小中高一貫制をとる中国、韓国、台湾では小中高で学習する基本語彙数は、「6,000 語か 7,000 語前後が多いが、日本は 3,000 語程度」と大きな差がある。さらに、小篠・江利川(2004: 144)が、「Jack and Betty 時代と比べて今日の英語教育が量的に縮小している」と指摘しているように、歴史的に見ても学習する語彙の総数自体が少なくなっている。また、「実用になる英語力」の獲得には 7,000~8,000 語が必要とされるなか(中條・竹蓋, 1994; 竹蓋, 2000), 本研究で明らかにされたような教科書語彙に見られる同じ語の反復が実用英語の育成に有効かどうかは検討の必要があろう。改めて 3,000 語程度の語彙力で「英語が使える日本人の育成」を達成できるであろうかということ問い直す必要もあると考える。

6. まとめ

本研究では、小中高英語教科書にどのような語彙が多く出現し分布するか、小中高英語教科書の語彙にはどの程度の重複があるのか、小中高において教科書を使用して英語を学習した場合、大学入学までに学習できる語彙の種類総数はどの程度に見込まれるか、また使用する教科書によって学習語彙数にどのような差異が生ずるか等を定量的に調査した。

語彙という限られた視点ではあるが、本研究の結果、小中高を通した英語指導にかなりの重複が見られる可能性が示唆され、小学校英語活動必修化の可能性が現実味を帯びてきた現在、小中高教科書語彙の連続性に対する議論は、今後高まっていくものと考え。単語の習得には繰り返し単語に接することが必要であり(Nation, 1990), 反復が多ければ、学習者の負担は少なくなる。しかし、一方で語彙数の拡大は使える英語力の育成において、不可欠な要素であることは周知の事実である。日本と同じ英語学習環境にある中国、韓国、台湾では、外国語教育が国策として捉えられ、政府主導の取り組みのもと、統一的な英語教育の目的・目標に基づくナショナル・シラバスが設定されており、英語が国際社会で生きていくうえで重要な教育科目であるという意識が全面的に出ているという(小池, 2006)。そのことを考えても、日本における効率的な「小中高一貫型英語語彙シラバス」の策定が望まれると考える。

本研究は語彙の定量的な側面に注目をし、語彙の意味、学習効率等の質的な特徴等は考慮していない。今後は、「小中高一貫型英語語彙シラバスの策定」に向けて、Nation(2001: 27)の指摘する 18 の語彙の習得内容の視点にも配慮するような多岐にわたる調査を行っていきたいと考える。

謝辞 本研究のデータ分析に際し、富士通システムソリューションズの山崎淳史氏のご協力を得ました。茂原高等学校長谷川修治氏には貴重なご意見を頂きました。また、編集委員の先生方に貴重なご助言を頂きました。ここに感謝いたします。

- * 本稿の内容の一部は、「大学英語教育学会第 45 回全国大会」(於 関西外国語大学, 9/8/2006) の口頭発表において報告したものである。
- 1 小学校英語では、授業における教科書の使用は稀である。本来は、小学校英語の実態を捉えるために、実際に教室で使われている教材を収集し、その語彙を調査すべきところである。しかし、たとえそのような方法を取ったとしても、地域、学校、あるいは各教師の自由な発想に基づいて行われる小学校英語の実態を的確に捉えることは不可能と思われる。そこで問題が残ることを認めたくえて、本研究では、いわゆる次善の策として市販の教科書を調査資料として用いることとした。教科書出版社から発行される小学校英語活動用の英語テキストは、早期英語教育の専門家や実践家が編纂に参加し、小学生に学んで欲しいと考える語彙が使用されているものと考えられる。今回使用した英語テキストは調査資料として理想的ではないものの、現在の日本の小学校英語の実情を勘案すると、妥当なものであろうと考える。
 - 2 調査した Sunshine シリーズは、中学校用は *Sunshine English Course 1,2,3* (島岡他, 1986), 高校用は *Sunshine English Course* (土屋他, 1987) である。
 - 3 “Lemmatization looks fairly straightforward, but is actually a matter of subjective judgement by the researcher. There are thousands of decisions to be taken.”という Sinclair (1991: 41) の引用が語るように、レマリストの作成は、語の定義とからむ多くの主観的判断を必要とする。本研究ではレマの定義については竹蓋・高橋・中條(1988)に準じる。レマリストの作成、語彙リストの比較には、中條・内山「語彙分析入門：lemma リストの作成」第 26 回英語コーパス学会ワークショップ(於 昭和女子大学, 10/22/2005)において使用された ruby プログラムを利用した。
 - 4 中学校検定教科書は 7 種ある。『教科書レポート 2002』(日本出版労働組合連合, 2002)によると、データを収集した 6 種の教科書の全国採択率は 99.9%であった。
 - 5 中学校教科書を構成するレッスンの形態は教科書ごとに異なる。本研究では、中学校教科書の英文を電子化する際、教科書間の比較を可能にするために、各「レッスン本体」と、*New Horizon* の ‘Reading Plus’ や ‘Speaking Plus’ に準ずる「付録テキスト」を対象として入力した。
 - 6 『内外教育』(1/27/2006)によると、本稿で調査した英語教科書 16 種の合計占有率は 47.0%、英語 は 50.3%、英語リーディングは 67.3%で、平均占有率は 54.9%となる。
 - 7 教科書間の語種がどの程度似ているかは、2 種の教科書語彙どうしの共通異語数を調査することである程度予測できる。小学校教科書 5 種から 2 種ずつ取り出す組み合わせ

- 10 通りの各 2 種に共通して出現した語の種類は平均 563 語であり、これは個々の小学校教科書の平均異語数の 49.6%であった。同様に中学校教科書 6 種の組み合わせ 15 通りの場合は平均 492 語であり教科書平均異語数の 63.3%にあたる。高校教科書の組み合わせは 120 通りとなり、共通出現語の種類は平均 1,249 語であり教科書平均異語数の 56.6%であった。これらの結果から、もし A 校と B 校で異なる教科書を使用した場合、中学校と高校教科書の掲載語彙の 6 割前後は 2 校で共通であり、小学校教科書語彙の場合は 5 割程度が共通であろうと考えられる。
- 8 本研究では小学校と中学校の基礎語彙を 500 語程度と設定したので、高校基礎語彙はそれらのほぼ 2 倍にあたる 1,000 語程度を目安にしてレンジの境界値を決定した。これらの境界値は主観的に決定せざるを得ないため、5 節における小中高の語彙の連続性の調査においては、小中高基礎語彙の比較だけでなく、もう 1 つ別の比較も行った。
- 9 小学校英語活動は導入されたが、現在のところ中学校以降の教科書はその状況に対応していない。そのため、連続性を考慮に入れていない教科書と言える。本研究は、現行の小中高の教科書語彙の実態を検証したもので、将来、小中高一貫型の教科書編纂がなされる際の基礎資料となることを期待するものである。
- 10 重複が多い理由のひとつは、レンジを基準として作成した 3 種の基礎語彙を比較していることがある。現状の調査方法には限界があるため、それを補うために 5.2 でさらに異なる視点から比較を行った。
- 11 Dale and O'Rourke(1981)の *The Living Word Vocabulary* は 40,400 項目の英語語彙について米国人の 75%以上の子どもが理解できる学年を調査したものである。この資料では最低学年レベルは 4 年生になるため、本研究ではさらに 4 年生以下を 1 年から 4 年の学年に細分する資料として Harris and Jacobson (1972) の *Basic Elementary Reading Vocabularies* を使用した。両資料とも調査年代が古く、理想的な資料とは言えないが、当該語の学年配当を考慮する際に参考資料になると考える。

参考文献

- 中條清美, 長谷川修治, 竹蓋幸生. (1993). 「日米英語教科書の比較研究から」. 『現代英語教育』, 29, 12, 14-16.
- 中條清美, 竹蓋幸生. (1994). 「現代英語のキーワード『プラス α2000』: 定義と効果の検証」. 『千葉大学教育実践研究』, 1, 253-267.
- 中條清美, 西垣知佳子, 西岡菜穂子, 山崎淳史, 白井篤義. (2006a). 「小学校英語活動用テキストの語彙」. 『日本大学生産工学部研究報告』, 39, 79-109.
- 中條清美, 西垣知佳子, 西岡菜穂子, 吉森智大. (2006b). 「小学校英語活動用テキストの語彙に関する研究」. 『第 45 回大学英語教育学会全国大会要綱』, 57-58.
- Dale, E. & O'Rourke, J. (1981). *The living word vocabulary*. Chicago: World Book-Childcraft

International, Inc.

Harris, A. J. & Jacobson, M. D. (1972). *Basic elementary reading vocabularies*. New York: The Macmillan Company.

長谷川修治, 中條清美. (2004). 「学習指導要領の改訂に伴う学校英語教科書語彙の時代的变化: 1980年代から現在まで」. *Language Education & Technology*, 41, 141-155.

長谷川修治, 中條清美, 西垣知佳子. (2006). 「大学入試英語問題語彙の難易度と有用性の時代的变化」. *JALT Journal*, 28, 2, 115-134.

速川浩. (1965). 「教科書に現われた英語単語の研究」. 『英語教育』, 14, 1 - 14, 4.

樋口忠彦, 加賀田哲也, 衣笠知子, 金澤直志, 福智佳代子, 掛谷舞, 他. (2003). 「小・中連携に関する調査研究: カリキュラム・指導案集・テキスト等の分析を通して」. 『英語授業研究学会紀要』, 12, 3-30.

樋口忠彦. (2005). 『これからの小学校英語教育: 理論と実践』. 東京: 研究社.

樋口忠彦, 泉恵美子, 衣笠知子, 加賀田哲也, 田邊義隆, 掛谷舞, 他. (2005a). 「諸外国の言語教育政策と日本の外国語教育への示唆」. 『語学教育部ジャーナル』, 1, 1-61.

樋口忠彦, 田邊義隆, 衣笠知子, 泉恵美子, 大村吉弘, 掛谷舞, 他. (2005b). 「小・中・高一貫のナショナル・シラバス試案: 日本の英語教育変革のために」. 『近畿大学語学教育部紀要』, 5, 1, 75-137.

時事通信社. (2005). 「<調査>2005年度高校教科書採択状況: 文科省まとめ(下)」. 『内外教育』, 5537, 8-15.

時事通信社. (2006). 「<調査>2006年度高校教科書採択状況: 文科省まとめ(下)」. 『内外教育』, 5625, 4-11.

垣田直巳, 三浦省五, 友枝謙二, 河田孝義. (1977). 『電子計算機による英語教科書の使用語彙総覧: 中学校編』. 広島: 溪水社.

小池生夫. (2006). 『第二言語習得研究を基盤とする小, 中, 高, 大の連携をはかる英語教育の先導的基礎研究』. 平成16年度~平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(A)) 中間報告書.

Mackey, W. F. (1965). *Language teaching analysis*. London: Longmans.

松川禮子. (2003). 『小学校英語活動を創る』. 東京: 高陵社.

三浦省五. (1987). 『英語教科書使用語彙: 文部省検定済高等学校用 英語 I・英語 II・英語 IIB』. 広島: 溪水社.

文部科学省. (2005). 「高等学校用教科書目録(平成18年度使用)」
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/mokuroku/17/koutou/index.htm.

文部省. (1998). 『中学校学習指導要領』. 東京: 大蔵省印刷局.

文部省. (1999). 『高等学校学習指導要領』. 東京: 大蔵省印刷局.

中村純作. (2006). 「教科書コーパスから何が見えるか: 方法論と中学校英語教科書の場

- 合」. 『立命館言語文化研究』, 17, 4, 143-166.
- Nation, I. S. P. (1990). *Teaching and learning vocabulary*. Boston: Heinle & Heinle Publishers.
- Nation, I. S. P. (2001). *Learning vocabulary in another language*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 西垣知佳子, 中條清美, 武内仁. (2006). 「小学校英語との連携に配慮した中学校重要語彙学習のため e-learning 教材の開発」. 『千葉大学教育学部研究紀要』, 54, 235-246.
- 日本出版労働組合連合. (2002). 『教科書レポート 2002』. 46. 東京: 日本出版労働組合連合.
- 小川清. (1977). 『昭和 53 年度用中学校英語教科書使用語の初出ページ総合索引 (コンピュータによる)』. 静岡県教育委員会学校教育課.
- 小川清. (2001). 「中学校英語教科書のコンコーダンスと使用語彙の頻度調査」. 『常葉学園大学研究紀要 (外国語学部)』, 17, 1-30.
- 小野博. (2005). 「小学校における身につく英語学習法の開発」. 『日本児童英語教育学会第 26 回全国大会資料集』, 中部大学, 6/12/2005, 66-69.
- 大津由紀雄. (2004). 『小学校での英語教育は必要か』. 東京: 慶應義塾大学出版会.
- 大津由紀雄. (2005). 『小学校での英語教育は必要ない』. 東京: 慶應義塾大学出版会.
- 大津由紀雄. (2006). 『日本の英語教育に必要なこと』. 東京: 慶應義塾大学出版会.
- 小篠敏明, 江利川春雄. (2004). 『英語教科書の歴史的研究』. 東京: 辞游社.
- 瀬谷廣一. (2004). 「平成 14 年度版中学校英語教科書 教科書別・学年別・品詞別 語彙分析統計」 <http://www.eng.ritsumei.ac.jp/seya/>.
- 塩見知之. (2002). 『文部省検定済中学校・高等学校教科書に現れた英語の語彙』. 東京: 北星堂.
- Sinclair, J. (1991). *Corpus, concordance, collocation*. Oxford: Oxford University Press.
- 菅沼太一郎. (1937). 「英語の学習語い選定の問題に就て」. 『九州帝国大学法文学部英文学科十周年記念論文集』, 27-44.
- 杉浦千早. (2002). 「高校英語教科書語彙リストの作成と使用語彙の検討」. *Language Education & Technology*, 39, 117-136.
- 竹蓋順子. (2000). 「大学英語教育における複合システムの実践的研究」. 『言語行動の研究』 千葉大学英語学・言語行動研究会, 7号増刊号, 1-54.
- 竹蓋幸生, 水光雅則. (2005). 『これからの大学英語教育: CALL を活かした指導システムの構築』. 東京: 岩波書店.
- 竹蓋幸生, 高橋秀夫, 中條清美. (1988). 「語彙リスト変換プログラムの機能とその試用結果」. 『言語行動の研究』, 1, 1-54.
- 山添孝夫. (2006). 「教科書コーパスから何が見えるか: 高等学校英語教科書の場合」. 『立命館言語文化研究』, 17, 4, 167-189.
- 淀縄光洋. (1983). 『高校英語語彙の実態と学習語彙体系の在り方』. 東京都立教育研究所.

Appendix 1 調査した教科書の出典

教科書名は原典の表記に従った。

A: 小学校教科書

- 小学校国際理解・英会話：ONE WORLD Kids バード, アント (樋口忠彦他, 教育出版, 2001)
小学校英語活動用テキスト：JUNIOR COLUMBUS 21 BOOK1, 2 (東後勝明他, 光村図書, 2004)
小学校英語活動テーマブック：Let's Have Fun! 1～6年 (千葉県成田市立成田小学校・英語研究部, 開隆堂, 2003)
小学校英語活動・国際理解副読本：Junior Horizon Hi, English! Book1, 2 (大杉正明他, 東京書籍, 2003)
小学校英語活動用テキスト：KIDS CROWN スタンダード, アドバンスト (渡邊時夫他, 三省堂, 2004)

B: 中学校教科書 (平成13年検定済)

- NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1, 2, 3 (笠島準一他, 東京書籍)
NEW CROWN ENGLISH SERIES 1, 2, 3 (森住衛他, 三省堂)
SUNSHINE ENGLISH COURSE 1, 2, 3 (島岡丘他, 開隆堂)
TOTAL ENGLISH NEW EDITION 1, 2, 3 (堀口俊一他, 学校図書)
ONE WORLD English Course 1, 2, 3 (佐々木輝雄他, 教育出版)
COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 1, 2, 3 (東後勝明他, 光村図書)

C: 高校教科書 (英語 : 平成14年検定済, 英語 : 平成15年検定済, リーディング: 平成16年検定済)

- Vivid English Course , , Reading (南村俊夫他, 第一学習社)
WORLD TREK ENGLISH COURSE , , READING (浅羽亮一他, 桐原書店)
NEW STREAM , , Reading (鈴木寿一他, 増進堂)
Surfing English Course , , Reading (末永國明他, 文英堂)
DAILY ENGLISH COURSE , , READING (高梨健吉他, 池田書店)
PRO-VISION ENGLISH COURSE , , READING (原口庄輔他, 桐原書店)
Voyager English Course , , Reading (南村俊夫他, 第一学習社)
NEW COSMOS English Course , , READING (大浦暁生他, 三友社)
NEW LEGEND ENGLISH , , READING (鈴木英一他, 開拓社)
NEW STAGE English Course , , Reading (川辺俊一他, 池田書店)
CROWN English Series , , Reading (霜崎實他, 三省堂)
UNICORN ENGLISH COURSE , , READING (市川泰男他, 文英堂)
MILESTONE English Course , , Reading (島田守他, 啓林館)
MAINSTREAM , , Reading (鈴木寿一他, 増進堂)
SUNSHINE English Course , , Readings (追村純男他, 開隆堂)
ONE WORLD English Course , , READING (國枝マリ他, 教育出版)

Appendix 2 学校英語基礎語彙 1,288 語

各語の左の数字は Dale & O'Rourke(1981)等の資料に基づいて母語話者が意味を理解できるようになると推定される学年を示す。下線は小中高基礎語彙の共通 287 語。

1	<u>a</u>	4	avoid	2	<u>brother</u>	4	collect	4	destroy	4	exactly
4	ability	1	<u>away</u>	1	brown	4	college	4	develop	3	example
2	able	1	<u>baby</u>	3	brush	1	<u>color</u>	3	<u>die</u>	3	except
1	<u>about</u>	1	<u>back</u>	1	build	1	<u>come</u>	3	difference	2	excite
2	above	2	bad	4	<u>building</u>	3	comfortable	2	different	4	excuse
4	accept	4	badminton	4	burn	3	common	3	difficult	3	exercise
3	accident	1	bag	1	<u>bus</u>	4	communicate	4	difficulty	6	exist
10	according	1	<u>ball</u>	3	business	4	communication	2	<u>dinner</u>	3	expect
2	across	3	banana	2	busy	3	company	3	direction	4	expensive
2	act	2	bank	1	<u>but</u>	4	compare	8	directly	4	experience
4	action	1	bark	2	<u>buy</u>	4	compass	3	disappear	3	explain
4	active	4	base	1	<u>by</u>	4	completely	3	discover	3	explore
8	activity	3	<u>baseball</u>	4	cabbage	4	computer	4	discuss	4	express
6	actually	4	basic	1	cake	6	concern	4	disease	4	expression
2	add	2	basket	1	call	6	condition	2	dish	2	eye
4	addition	4	basketball	3	calm	4	confuse	1	<u>do</u>	2	<u>face</u>
4	adult	4	bat	3	camera	4	connect	2	<u>doctor</u>	3	fact
8	advantage	4	bathroom	1	<u>can</u>	6	consider	1	<u>dog</u>	4	factory
6	affect	1	<u>be</u>	3	candy	4	contain	2	doll	4	fail
2	afraid	3	beach	3	cap	3	continue	2	dollar	1	<u>fall</u>
1	<u>after</u>	1	<u>bear</u>	1	<u>car</u>	8	contrast	2	<u>door</u>	3	familiar
3	<u>afternoon</u>	3	beat	2	<u>card</u>	4	control	1	<u>down</u>	2	<u>family</u>
1	<u>again</u>	2	beautiful	2	care	2	<u>cook</u>	4	dozen	3	famous
3	against	3	beauty	2	careful	2	cookie	3	draw	4	fan
3	age	2	<u>because</u>	4	carefully	3	cool	2	<u>dream</u>	1	far
2	ago	3	become	3	carrot	4	copy	1	dress	1	farm
3	agree	1	<u>bed</u>	2	carry	2	corn	2	<u>drink</u>	1	fast
2	ahead	4	beef	3	case	4	corner	2	drive	1	<u>father</u>
2	air	1	before	1	cat	2	count	1	drop	3	<u>favorite</u>
1	airplane	1	begin	1	<u>catch</u>	2	<u>country</u>	2	dry	4	fear
3	alive	3	beginning	3	cause	4	couple	1	duck	2	feed
1	<u>all</u>	4	behavior	3	center	3	courage	3	during	2	feel
3	allow	1	behind	4	century	3	<u>course</u>	*	e-mail	4	feeling
2	almost	4	being	6	ceremony	2	cover	2	each	4	female
2	alone	2	believe	3	certain	1	cow	2	ear	4	festival
1	along	2	bell	4	certainly	2	cream	2	early	2	few
3	already	2	belong	2	chair	6	create	2	earth	2	field
2	also	3	below	4	challenge	4	creature	4	easily	1	fight
3	although	2	beside	2	chance	2	cross	2	easy	3	figure
2	always	2	between	3	<u>change</u>	3	crowd	1	<u>eat</u>	2	fill
3	among	3	beyond	6	character	1	cry	8	economic	4	film
4	amount	3	bicycle	4	cheap	4	cucumber	4	education	3	final
4	ancient	1	<u>big</u>	3	check	6	culture	8	effect	4	finally
1	<u>and</u>	4	billion	3	cheer	12	curry	4	effort	1	find
2	angry	1	<u>bird</u>	4	cheese	3	customer	2	egg	2	<u>fine</u>
1	<u>animal</u>	1	birthday	4	chemical	1	<u>cut</u>	6	eggplant	2	<u>finger</u>
4	announce	2	bit	2	cherry	6	cycle	3	either	2	<u>finish</u>
1	another	1	<u>black</u>	2	chicken	4	daily	4	elementary	1	fire
2	answer	4	blackboard	1	<u>child</u>	4	damage	2	elephant	1	first
1	<u>any</u>	4	blood	4	childhood	2	dance	2	<u>else</u>	1	<u>fish</u>
2	anyone	2	blow	3	chip	3	danger	2	empty	2	fit
2	anything	1	<u>blue</u>	4	chocolate	3	dangerous	4	encourage	3	flash
4	appeal	3	board	4	choice	1	dark	2	end	4	flight
3	appear	1	boat	2	choose	3	daughter	3	enemy	2	floor
2	apple	3	<u>body</u>	3	church	1	<u>day</u>	4	energy	2	flower
4	approach	4	bomb	3	circle	3	dead	3	engineer	1	<u>fly</u>
4	area	1	<u>book</u>	2	<u>city</u>	3	deal	3	<u>enjoy</u>	2	follow
2	<u>arm</u>	3	borrow	3	clap	2	dear	2	enough	1	<u>food</u>
1	<u>around</u>	2	both	2	<u>class</u>	4	death	3	enter	1	<u>foot</u>
3	arrive	2	bottle	4	classroom	3	decide	6	environment	3	football
4	<u>art</u>	2	bottom	2	<u>clean</u>	4	decision	4	eraser	1	<u>for</u>
4	artist	2	bowl	2	clear	2	deep	3	escape	3	force
1	as	1	box	4	clearly	4	deeply	6	especially	4	foreign
1	ask	1	<u>boy</u>	2	climb	3	delicious	2	even	2	<u>forest</u>
3	asleep	4	brain	2	clock	8	department	2	<u>evening</u>	4	forever
6	asparagus	3	bread	2	<u>close</u>	4	depend	6	event	2	forget
1	<u>at</u>	2	break	4	clothes	4	describe	2	ever	3	form
3	attack	2	<u>breakfast</u>	3	cloud	4	desert	2	every	3	forward
3	attention	4	breathe	4	cloudy	4	design	3	everybody	3	free
4	audience	2	bridge	3	club	6	designer	2	<u>everyone</u>	4	freedom
2	aunt	2	bright	3	coffee	4	desire	2	everything	3	fresh
4	average	1	<u>bring</u>	4	<u>cold</u>	3	desk	4	everywhere	1	<u>friend</u>

2	friendly	1	<u>hear</u>	4	juice	1	<u>many</u>	1	<u>night</u>	2	<u>people</u>
4	friendship	3	heart	1	<u>jump</u>	4	map	1	<u>no</u>	4	pepper
1	<u>from</u>	3	heat	4	junior	3	market	4	nobody	6	per
2	front	2	heavy	1	<u>just</u>	3	marry	3	nod	4	percent
2	fruit	1	<u>help</u>	4	kangaroo	3	match	2	noise	3	perfect
3	fry	1	<u>here</u>	2	keep	6	math	2	none	4	perform
2	full	2	herself	3	key	2	matter	3	noon	3	perhaps
1	<u>fun</u>	2	hide	4	kid	1	<u>may</u>	8	nor	3	person
1	funny	2	<u>high</u>	2	kill	1	maybe	4	normal	4	personal
4	future	2	himself	6	kilometer	3	meal	3	north	4	phone
6	gain	3	history	1	<u>kind</u>	2	mean	2	nose	4	photograph
1	<u>game</u>	2	hit	2	kitchen	4	meaning	1	<u>not</u>	4	photographer
2	garden	1	hold	3	knee	3	meat	2	note	6	physical
3	gather	2	hole	1	<u>know</u>	4	medical	6	notebook	3	piano
6	generation	1	<u>home</u>	10	koala	3	medicine	1	nothing	1	pick
8	gesture	4	homework	6	lack	1	<u>meet</u>	3	notice	1	<u>picture</u>
1	<u>get</u>	3	honor	3	<u>lady</u>	4	meeting	1	<u>now</u>	2	piece
3	gift	2	<u>hope</u>	2	lake	4	melon	2	<u>number</u>	1	pig
3	giraffe	1	horse	2	land	4	member	3	nurse	2	pink
1	<u>girl</u>	3	<u>hospital</u>	3	language	4	memory	3	o'clock	4	pizza
1	<u>give</u>	2	<u>hot</u>	2	large	3	message	4	object	2	place
2	glad	3	hotel	1	last	6	meter	3	ocean	2	plan
2	glass	3	hour	2	<u>late</u>	3	middle	1	<u>of</u>	4	plane
6	global	1	<u>house</u>	1	laugh	2	mile	1	<u>off</u>	3	planet
2	glove	1	<u>how</u>	4	law	2	milk	3	offer	2	plant
4	glue	6	however	3	lay	3	million	3	<u>office</u>	1	play
1	<u>go</u>	2	huge	3	lead	2	mind	6	official	4	<u>player</u>
4	goal	4	human	3	leader	4	mine	3	often	1	<u>please</u>
1	goat	3	hundred	2	learn	4	minus	4	<u>old</u>	4	plus
2	gold	2	hungry	2	<u>leave</u>	2	minute	8	omelet	1	pocket
1	<u>good</u>	1	hurry	4	<u>left</u>	3	mirror	1	<u>on</u>	2	<u>point</u>
1	<u>good-by</u>	2	hurt	1	leg	1	miss	2	once	3	police
4	gorilla	3	husband	4	lemon	3	mistake	1	one	3	polite
4	government	1	<u>I</u>	3	lesson	4	modern	4	onion	2	poor
*	gradually	1	ice	1	<u>let</u>	3	moment	2	<u>only</u>	4	popular
4	graduate	2	<u>idea</u>	1	<u>letter</u>	1	money	4	onto	6	population
2	grandfather	1	<u>if</u>	4	lettuce	2	monkey	2	<u>open</u>	4	pork
2	grandmother	3	ill	4	level	3	month	6	opportunity	3	possible
1	grass	4	image	2	library	3	moon	1	<u>or</u>	4	possibly
4	grasshopper	3	imagine	2	lie	1	<u>morning</u>	3	orange	4	post
2	gray	6	immediately	2	<u>life</u>	1	<u>mother</u>	3	order	3	potato
2	<u>great</u>	3	important	1	<u>light</u>	2	<u>mountain</u>	4	ordinary	3	pound
8	greatly	3	impossible	1	<u>like</u>	2	mouse	6	organization	3	power
1	<u>green</u>	4	improve	6	likely	2	<u>mouth</u>	6	organize	4	powerful
2	ground	1	<u>in</u>	4	limit	2	move	1	other	3	practice
3	group	3	inch	2	line	12	movement	4	ourselves	6	prefer
2	grow	4	include	2	lion	4	movie	1	<u>out</u>	3	prepare
1	guess	6	increase	4	lip	1	<u>much</u>	2	outside	3	present
4	guest	3	indeed	3	list	3	<u>music</u>	1	<u>over</u>	4	pressure
4	guide	6	individual	2	<u>listen</u>	1	must	1	own	2	pretty
4	guitar	6	influence	1	<u>little</u>	2	myself	3	page	4	prevent
4	gym	6	information	1	<u>live</u>	3	mystery	4	pain	4	price
1	<u>hair</u>	2	inside	6	local	1	<u>name</u>	1	paint	1	prize
3	half	3	insist	4	lonely	4	nation	2	pair	3	probably
2	hall	2	instead	1	<u>long</u>	6	national	4	panda	3	problem
4	hamburger	3	interest	1	<u>look</u>	4	natural	6	pant	6	process
4	hamster	3	interesting	1	lose	6	naturally	2	<u>paper</u>	4	produce
1	<u>hand</u>	8	international	2	lot	4	nature	4	pardon	6	product
2	hang	6	interview	2	<u>loud</u>	2	near	3	parent	4	program
2	happen	1	into	2	<u>love</u>	4	nearly	2	<u>park</u>	6	progress
3	happiness	4	introduce	2	low	4	necessary	2	<u>part</u>	6	project
1	<u>happy</u>	3	invite	2	luck	2	neck	1	party	3	promise
1	hard	3	island	4	luckily	2	<u>need</u>	2	<u>pass</u>	3	protect
4	hardly	6	issue	4	lucky	2	neighbor	4	passport	6	protest
4	harmonica	1	<u>it</u>	2	<u>lunch</u>	3	neither	2	past	2	proud
1	hat	4	itself	3	machine	4	nervous	3	patient	4	provide
3	hate	2	<u>job</u>	4	magazine	1	never	2	pay	4	public
1	<u>have</u>	3	join	2	mail	1	<u>new</u>	4	pea	4	pudding
1	<u>he</u>	2	joke	3	main	4	<u>news</u>	4	peace	2	pull
1	<u>head</u>	4	journey	4	major	4	newspaper	4	peach	3	pumpkin
4	health	2	joy	1	<u>make</u>	1	<u>next</u>	2	pen	3	purple
4	healthy	3	judge	1	<u>man</u>	2	<u>nice</u>	3	pencil	4	purpose

2	push	2	same	4	snake	4	suggest	4	tomato	2	wave
1	<u>put</u>	3	sandwich	2	<u>snow</u>	2	<u>summer</u>	1	<u>tomorrow</u>	1	<u>way</u>
3	queen	4	satisfy	1	<u>so</u>	1	<u>sun</u>	1	<u>too</u>	1	<u>we</u>
2	<u>question</u>	2	save	10	soccer	4	sunny	3	tool	3	weak
2	quick	1	<u>say</u>	4	social	4	supermarket	2	tooth	4	weapon
2	quickly	1	<u>school</u>	6	society	6	supply	2	top	2	wear
2	quiet	3	science	4	sock	4	support	3	touch	3	<u>weather</u>
2	quietly	3	<u>scientist</u>	2	soft	3	suppose	2	toward	2	<u>week</u>
2	quite	4	scissors	3	soldier	2	<u>sure</u>	1	town	4	weekend
1	rabbit	3	scream	3	solve	4	surely	2	track	3	weight
1	race	2	sea	1	<u>some</u>	3	surface	6	tradition	3	welcome
4	racket	3	search	2	someone	1	surprise	8	traditional	1	<u>well</u>
3	radio	3	<u>season</u>	1	<u>something</u>	3	surround	1	<u>train</u>	3	west
4	radish	2	<u>seat</u>	4	sometimes	6	survive	3	travel	1	wet
1	rain	2	second	4	somewhere	*	sushi	3	treat	1	<u>what</u>
4	rainy	3	secret	2	son	4	sweater	1	<u>tree</u>	4	whatever
3	raise	1	<u>see</u>	2	<u>song</u>	2	sweet	2	trip	1	<u>when</u>
6	rarely	2	seed	1	<u>soon</u>	2	<u>swim</u>	2	trouble	6	whenever
3	rather	2	seem	2	<u>sorry</u>	6	system	2	true	1	<u>where</u>
2	reach	2	sell	1	sound	4	t-shirt	3	truly	3	whether
1	<u>read</u>	2	send	2	soup	2	<u>table</u>	4	trumpet	1	<u>which</u>
4	reading	3	sense	8	source	2	tail	4	trust	2	while
1	<u>ready</u>	4	separate	3	south	1	<u>take</u>	3	truth	1	<u>white</u>
2	real	3	serious	3	space	1	<u>talk</u>	1	<u>try</u>	1	<u>who</u>
3	realize	10	seriously	4	spaceship	2	tall	2	<u>turn</u>	3	whole
4	<u>really</u>	3	serve	4	spaghetti	12	tambourine	2	twice	1	<u>why</u>
3	reason	2	set	2	<u>speak</u>	3	taste	4	type	2	wide
4	receive	3	several	4	speaker	4	taxi	4	umbrella	2	wife
6	recent	2	shake	3	special	3	tea	6	unable	3	wild
3	record	1	shall	8	species	2	teach	2	uncle	1	<u>will</u>
1	<u>red</u>	3	share	3	speech	2	<u>teacher</u>	1	under	2	win
3	refuse	1	<u>she</u>	3	spend	3	team	3	understand	2	<u>wind</u>
4	relationship	2	sheep	3	spider	2	tear	2	unhappy	1	window
4	relax	3	shine	3	spirit	10	technology	10	unique	2	<u>winter</u>
4	religion	2	ship	4	<u>sport</u>	3	television	3	unite	2	wise
4	remain	4	shock	2	spot	1	<u>tell</u>	4	university	1	wish
2	remember	3	shoot	3	spread	4	temple	2	until	1	<u>with</u>
4	remind	2	<u>shop</u>	2	<u>spring</u>	4	tennis	3	unusual	4	within
4	remove	2	short	2	<u>stand</u>	3	terrible	1	<u>up</u>	2	without
3	repair	3	shoulder	6	standard	3	test	3	upon	2	wolf
3	reply	2	shout	2	<u>star</u>	6	textbook	2	<u>use</u>	2	<u>woman</u>
3	report	1	<u>show</u>	2	stare	1	than	3	useful	2	wonder
6	require	4	shrimp	2	<u>start</u>	3	<u>thank</u>	3	usual	2	<u>wonderful</u>
4	research	2	shut	3	state	1	<u>that</u>	6	usually	2	wood
8	resource	3	sick	2	station	1	<u>the</u>	3	vacation	1	<u>word</u>
3	respect	2	side	1	stay	4	theater	6	variety	1	work
2	rest	2	sight	3	steal	3	themselves	6	various	4	worker
4	<u>restaurant</u>	2	sign	1	step	1	<u>then</u>	3	vegetable	2	<u>world</u>
6	result	3	silence	2	stick	1	<u>there</u>	1	<u>very</u>	3	worry
2	return	3	silent	1	still	6	therefore	6	victim	2	<u>write</u>
3	rice	4	similar	2	stone	1	<u>they</u>	10	video	4	writer
3	rich	4	simple	1	<u>stop</u>	1	<u>thing</u>	3	view	4	writing
1	<u>ride</u>	4	simply	1	store	1	think	3	village	2	wrong
1	<u>right</u>	3	since	3	storm	4	thirsty	4	violin	2	<u>year</u>
2	ring	1	<u>sing</u>	1	story	1	<u>this</u>	2	visit	1	yellow
3	rise	4	singer	2	straight	3	though	2	voice	8	yen
2	river	3	single	2	strange	4	thought	4	volleyball	1	<u>yes</u>
1	<u>road</u>	1	<u>sister</u>	4	strawberry	3	thousand	4	volunteer	3	yesterday
4	robot	1	<u>sit</u>	2	stream	2	<u>through</u>	4	vote	2	yet
2	<u>rock</u>	6	situation	1	street	6	throughout	2	wait	1	<u>you</u>
6	role	3	size	4	stripe	2	throw	2	wake	2	young
2	roll	2	skate	2	<u>strong</u>	6	thus	1	<u>walk</u>	2	yourself
2	<u>room</u>	4	ski	3	struggle	3	ticket	2	wall	4	zebra
2	rope	4	skill	4	student	2	tie	1	<u>want</u>	1	zoo
2	<u>round</u>	3	skin	3	<u>study</u>	2	tiger	3	war		
3	rule	3	sky	6	subject	1	<u>time</u>	2	<u>warm</u>		
4	ruler	1	<u>sleep</u>	4	succeed	2	tiny	3	warn		
1	<u>run</u>	4	sleepy	4	success	2	tire	2	wash		
2	<u>sad</u>	2	slow	6	successful	1	<u>to</u>	3	waste		
*	sadly	4	slowly	2	such	2	<u>today</u>	2	<u>watch</u>		
2	safe	2	<u>small</u>	2	suddenly	3	toe	1	<u>water</u>		
4	salad	2	smile	4	suffer	2	<u>together</u>	4	watermelon		

* 資料に学年の記載なし